

安心・安全なまちづくりのための連携協定



8月19日(木)に町と中部ケーブルネットワーク株式会社(CCNet・名古屋市)は、防災・防犯情報や行政情報などの発信において連携する協定を結びました。CCNetは防災・防犯情報や行政情報などを専門に発信する「安全・安心123(ひやくにじゅうさん)チャンネル」を1月から放送開始できるように整備を進めています。

奥村与幸代表取締役社長は「行政と連携し、河川の水位や冠水しやすい道路などにライブカメラを設置するなど、地域住民が本当に必要とする情報を365日24時間提供できるように準備を加速させたい」と話しました。

将棋で日本一！



優勝の喜びと今後の抱負を語るふたり



楯とメダルとともに笑顔の宮堂力旗さん(左)と孔暉さん(右)

7月31日(土)と8月1日(日)に和歌山県で開催された「第45回全国高等学校総合文化祭将棋部門を兼ねた第57回全国高等学校将棋選手権大会」において、鷺谷高等学校将棋部の宮堂力旗さん(大将：3年)と宮堂孔暉さん(三将：1年)の兄弟が男子団体戦の部で優勝し、全国48チームのトップに輝きました。その報告のため、8月12日(木)に大橋孝町長を表敬訪問しました。大橋町長は「全国大会優勝おめでとうございます。オリンピックでも“兄弟”が話題になりましたが、わが町の自慢の兄弟です。孔暉さんは連覇して、また報告に来てください」と喜びを伝え、ふたりのさらなる躍進に期待しました。

戦後76年 平和な日本を守っていく



戦争の悲惨さを語る平間さん



紙芝居を使い、講話する高木さん

8月21日(土)に町中央公民館にて「戦争体験のお話を聞く会」が開催されました。今年で戦後76年が経ちましたが、平和について考え、戦争の悲惨さを風化させないために、戦争体験者である平間順子さん(海津市)と「空襲体験を語りつぐ大垣の会」事務局の高木正一さん(大垣市)のおふたりを講師に迎え、戦争体験についての講話を聞きました。

平間さんは、戦争により死と隣り合わせになった体験を振り返りながら「戦争は悲しい犠牲を生む。二度と戦争を起こさず、平和な時代を守っていかなければならない」と訴えました。高木さんは、紙芝居や写真を交えながら「子どもたちに戦争の悲惨さを伝えていく必要がある。平和が当たり前とあるとは思ってはいけない」と語りました。